

# 農業者の働き方改革のための カイゼン取組について

---

鳥取県農林水産部農業振興監経営支援課

中西由美花



# 取り組みの目的

---

女性農業者が活躍する農家をモデルに、トヨタカイゼン方式を活用し、女性が働きやすい環境にすることで誰もが働きやすい環境となることを実証する。さらに、モデル実証事例を紹介することにより、鳥取県内の農業分野の職場環境改善を推進する。

# モデル実証農家

①らっきょう塩漬け加工仕向け調整作業の改善

鳥取市 山根農園 山根貴世子氏

②ホウレンソウ出荷調製作業の改善

北栄町 ピーフาร์ม 梅津恵美子氏

③梨出荷時期の働き方改善

倉吉市 ペアファーム花田 花田敏江氏

## 改善参考事例

④梨直売に係る事務作業改善

岸田秀果園 岸田志保氏

# トヨタカイゼン方式とは

---

ムダを排除して

「良いものを、安全に、楽に、速く、  
安く」造り、

収益性の向上と企業の活性化を  
図る活動です。

## 今回の紹介内容は

---

今回は、トヨタカイゼン方式をもとにカイゼン指導を行う(株)カイゼン・マイスターにモデル実証農家の改善指導をしていただきました。その中から改善する際の考え方、具体的な手法を紹介します。

# 全ては問題点の発見から

---

「**危機意識**がないところには**問題意識**も生まれない。」

「問題解決よりも問題発見がより重要。」

「**現状は最悪である。**」⇒問題発見の原動力・緊張感を持つ

「**今のやり方に疑問をもつ。**」

「**先入観からの解放。**」



## 問題点の発見

参考資料

(株)カイゼン・マイスター、「トヨタから学んだ本当のカイゼン」

(株)カイゼン・マイスター 神山立彌氏作成資料、「カイゼンの進め方」

# カイゼン活動の手順

	改善の手順	科学的な考え方	
1	改善必要点を発見する (ムダの発見、区分する)	目的を明らかにする	問題の明確化 テーマの選定
2	現在の方法を分析	事実をつかむ	現状把握 目的設定
3	着想を得る	事実について考える	要因解析 原因の解析
4	改善案を作成する	案を立てる	対策立案 対策の検討
5	改善案を実施する	実施する	対策実施
6	実施した結果の確認	確認する	効果の確認、評価、標準化

出典: (株)カイゼン・マイスター 神山氏作成資料「カイゼンの進め方」

# 問題発見の視点 その1

---

## 7つのムダ

(1) 手待ちのムダ	一時的にやることの無い状態
(2) 加工のムダ	本来の仕事の完成度に関係のない部分に加工
(3) 運搬のムダ	付加価値を生まない歩行・運搬・情報の流れ
(4) 在庫のムダ	不要な備品、情報、書類
(5) 動作のムダ	付加価値を生まない動き(運搬、探す、手直し、段取り、修理、確認作業、見張り、
(6) 造りすぎのムダ	必要以上に作る、必要なタイミングより早く造る
(7) 不良・手直しのムダ	破棄が必要な物、手直しが必要な物

参考資料:(株)カイゼン・マイスター 神山氏作成資料「改善の見つけ方」



# 問題発見の視点 その2

---

◎『違和感』を感じる対象 視覚・感覚から問題点を発見する

◎汚れがある場所 物の散乱・ホコリのたまっている所

◎3ム ムダ・ムラ・ムリ

ムダ 付加価値を高めない現象や結果

ムラ 生産、業務量のバラつきがある、  
量が多い⇒ミス、量が少ない⇒ダラダラ

ムリ 過度な負担・継続的に続けることが困難  
能力超えた作業

参考資料:(株)カイゼン・マイスター 神山氏作成資料「改善の見つけ方」

# 問題発見の視点 その3

---

現場をただ見ているだけではそのポイントを見つけることはできない

『区分する』・『視点を絞る』の2点が重要

## 【区分する】

仕事を細かく区切る。考える範囲を絞る。

具体的に、計量的にすることで、改善案が出やすくなる。

## 【視点を絞る】

ある限られた観点のみについて問題点を見つけること。

ある特定の視点到絞ることにより、問題点を見つけやすくなる。

人の動き ➡ 左手 ➡ 右手 ➡ 左足 ➡ 右足 動作 ➡ 運搬・作業・検査等

参考資料: (株)カイゼン・マイスター 神山氏作成資料「改善のを見つけ方」

# 問題解決するための発想の定石

---

## 現場改善の12の定石

- (1) 排除: それをやめたらどうか
- (2) 正と反: それを反対にしたらどうか
- (3) 正常と例外: それは異常なのか  
いつも起きるか
- (4) 定数と変数: 変わるものだけを例外  
にしたら(多品種少量)
- (5) 拡大と縮小: 大きくする／小さくする
- (6) 結合と分離: 結合する／分ける
- (7) 集約と分散: まとめる／分散する
- (8) 付加と削除: 追加する／取り除く
- (9) 順序の入替: 作業手順を入れ替える
- (10) 共通と差異: 共通点／違う点を活かす
- (11) 充足と代替: 他のものを使う／替える
- (12) 並列と曲列: 同時にやる／順次にやる

参考資料: (株)カイゼン・マイスター 神山立彌氏作成資料「問題点解決の進め方」「改善の定石」

# 問題解決方法の具体例

---

## 作業標準の決定

作業の個人差→作業の速さのバラつき発生(生産量のバラつき)  
どの様に作業すれば規格基準を守れるか、作業の早い人、遅い人  
不良の出にくい人、等バラツキの発生を改善し、作業を全員が同じレ  
ベルで作業が出来るように作業のやり方の決める⇒作業標準を決める  
各作業者の長年の経験により自分のノウハウ→各人のやり方を全員で  
検討、話し合いし一番やり易い方法を決めて標準とする。  
その内容を文書化、写真等で見える化→『標準作業書』  
新人の教育資料に活用出来、新人の教育期間の短縮になる。

参考資料:(株)カイゼン・マイスター 神山氏作成資料「改善支援報告書」

このたび、トヨタ式カイゼンをご指導  
いただいた株式会社カイゼン・マイ  
スターの皆様、中でも、実証モデル  
農家を直接ご指導いただいた神山  
立彌様に、深く感謝いたします。  
この場を借りてお礼申し上げます。

---

